

P R E S S R E L E A S E

2025 年 7 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社Ubicom ホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 青 木 正 之
(コード番号：3937 東証プライム市場)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 北 岡 明 哲
(TEL. 03-5803-7339)

「国際モダンホスピタルショウ 2025」にて 医師の働き方改革と病院経営を支援するAIソリューションを展示

株式会社 Ubicom ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 正之、証券コード：3937、以下「当社」）のメディカル子会社である、株式会社エーアイエス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 正之）は、2025 年 7 月 16 日（水）～18 日（金）にかけて東京ビッグサイトで開催された「国際モダンホスピタルショウ 2025」に出展いたしました。

本年の展示会では、「より良い病院経営のために」エリアが新設されるなど、医療機関の経営改善や業務改革への関心が一段と高まっており、当社はこの機会に、医師の働き方改革と病院経営の両面に資するAIソリューションとして、『Mighty QUBE® Hybrid』および『MightyChecker® EX』の2製品を中心にデモンストレーションを実施いたしました。



『Mighty QUBE® Hybrid』は、電子カルテとリアルタイムで連携し、医師のオーダー入力時にAIが即時に誤りや病名漏れを検知するハイエンドモデルで、医師の事務作業を大幅に削減し、過重労働対策にも直結します。例えば300床の中規模病院における試算では、年間約6,200万円の増収効果をもたらし、投資対効果は1,154%※1を実現。医師の働き方改革関連法への対応を求められる病院経営者から高く評価されています。

『MightyChecker® EX』は、医事会計システムと連携し、AIがレセプトの誤請求や請求漏れを自動で点検するソリューションです。複雑な診療報酬制度に対応し、医事課の業務効率化と収益改善に寄与します。同じく300床規模の病院においては、年間約910万円の増収効果、投資対効果は411%※2が見込まれています。これらの定量的なメリットは、医療機関にとっての導入判断における大きな後押しとなっております。

当社が開発・提供する「Mighty」シリーズは、現在、全国で21,000を超える医療機関に導入されており、病院・クリニック向けの経営支援ソリューションとして着実にシェアを拡大しております。今後は、Ubicomグループが推進する全国の販売代理店とのM&A戦略や新規ソリューション開発とのシナジーを活かし、さらに提供価値を高めてまいります。

※1 『Mighty QUBE® Hybrid』 使用料 例5,340,000円/年（2024年1月価格改定）

※2 『MightyChecker® EX』 使用料例2,220,000円/年

<当社 株式会社 Ubicom ホールディングス、子会社 株式会社エーアイエスについて>

当社は、「人」×「技術」で革新的な IT ソリューションを創造する、唯一無二のビジネスイノベーションカンパニーであり続けることを経営理念に掲げ、戦略市場と位置付ける、医療・金融/公共・自動車・PC（MFP）・AI/IOT・業務基幹システム・不動産等の戦略市場の DX 化を推進しています。

メディカル領域を担う子会社エーアイエスは、AI×サブスクモデルを活用した病院・クリニック向け経営支援 IT ソリューションのパイオニアとして、医師の働き方改革を支援するレセプト点検システム

「Mighty Checker® EX」や、電子カルテ連携システム「Mighty QUBE® Hybrid」などを提供しています。

現在は、Ubicom グループの「第2成長フェーズ」として、30年以上にわたり構築した約21,000超の医療機関の顧客基盤・医療データベース・知財を活用し、新たなプラットフォームビジネスを拡大。生命保険・損害保険会社向け「保険ナレッジプラットフォーム」の提供も開始しました。また最近では、

「Mighty Checker® EX」のエンジンと医療クラウドサービス「SonaM」を搭載したレセプト点検プラットフォーム「遠隔サービスプラットフォーム」を、医療人材派遣業を展開する株式会社日本教育クリエイトに提供。同社のBPOセンターにて、契約医療機関のレセプトをオンラインで点検する仕組みの構築を支援しています。

以上